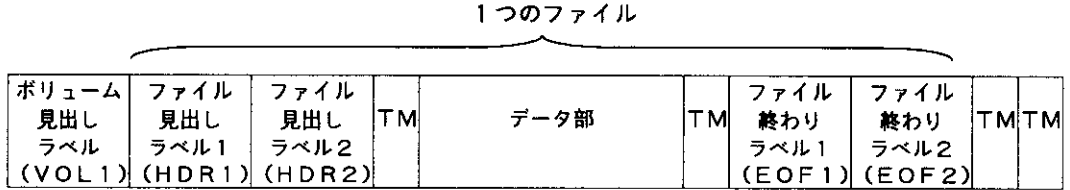


(5) MTラベル形式

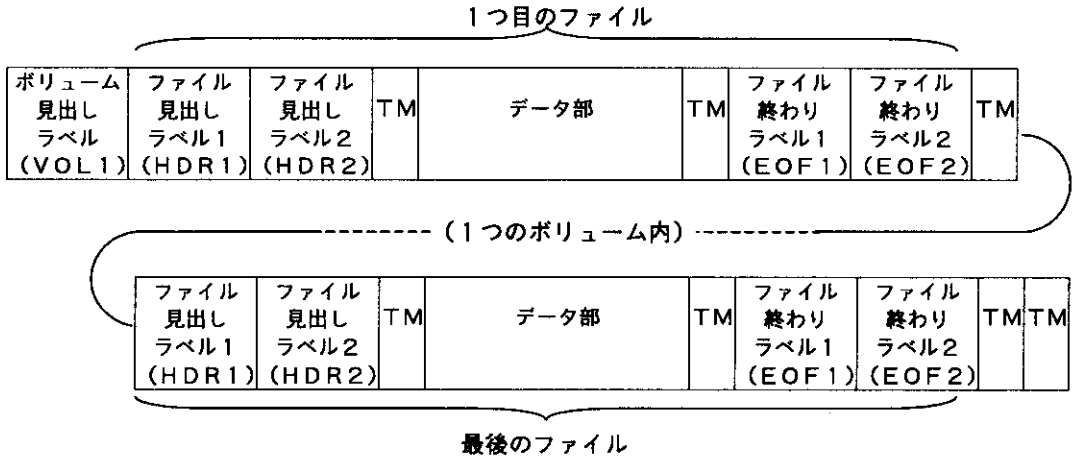
交換情報を格納するMTは以下のラベル形式(JIS X0601に準拠)をもつ。

① シングルファイルボリュームのラベル形式

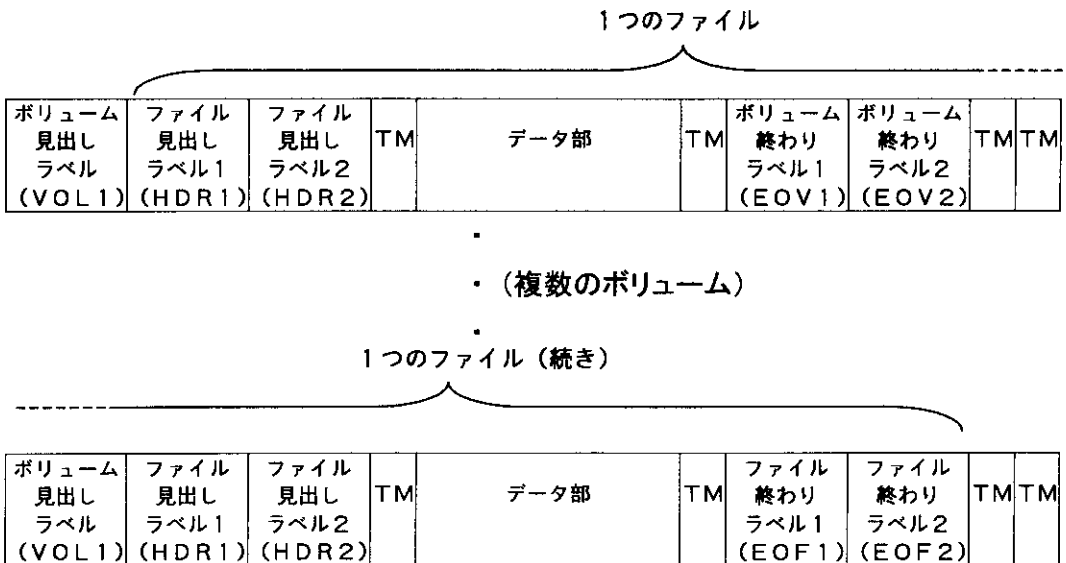


TM:テープマーク

② マルチファイルボリュームのラベル形式



③ マルチボリュームファイルのラベル形式



※最後のボリュームのみラベル形式が異なる。

・ボリューム見出しラベル(VOL1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“VOL1”を設定
2	ボリューム識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
3	ボリュームアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
4	予備	英数	13	スペースを設定
5	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
6	所有者識別名	英数	14	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	予備	英数	28	スペースを設定
8	ラベル規格番号	英数	1	本システムでは使用しないためスペースを設定

・ファイル見出しラベル1(HDR1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	数字	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	数字	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代: “_y d d d” (_:半角スペース) 2000年代: “0y d d d” (0:半角ゼロ) y y :西暦年の下2桁を数字00～99で設定する d d d :年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	英数	6	000000を設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル見出しラベル2(HDR2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ファイル終わりラベル1 (EOF1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy : 西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd : 年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付 (有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース (制限無し) を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を000001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル終わりラベル2 (EOF2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F” (固定長レコード形式) を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ボリューム終わりラベル1 (EOV1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy:西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd:年間を通じた通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を000001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ボリューム終わりラベル2 (EOV2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	スペースを設定
12	予備	英数	41	スペースを設定

## (6) 文字コード

### ① JISコード

次の文字コード規格に準拠する。

JIS X0201

JIS X0202

JIS X0208-1997

JIS X0212-1990

### ② シフトJISコード

Windows標準で使用されているコード体系(JIS X0208の漢字文字集合を未使用領域にシフトさせたコード体系)に準拠する。

### ③ 外字

交換情報の被保険者等名及び住所の項目に外字が含まれる場合は、外字部分の文字コードをシフトJISの外字コードに変換して格納する。

ただし、審査支払等システムでは全ての外字を取り扱い対象外とするため、当該データが印字対象となる場合はこれをスペースに置き換えて印字し、「外字空白印字リスト」によりこの処置を通知する。

したがって、審査支払等システムで外字を印字する場合は、保険者等と国保連合会との間で外字コードの取り扱いについての調整が必要となる。

#### ※外字コード

シフトJISコード上での外字コード領域には、16進コード…0xF040～0xF9FCの範囲で2バイト目が16進コード…0x40～0x7E及び0x80～0xFCの1880文字が割り当てられている。

## (7) 特記事項

### ① CSV形式ファイル

- ・各レコードは可変長レコードとし、レコードの終わりには「改行コード(16進…0x0D0A)」を設定する。

- ・各項目間には区切り(セパレータ)として「カンマ(16進コード…0x2C)」を設定する。

- ・英数属性および漢字属性の項目はデータの両側を「ダブルコーテーション(16進コード…0x22)」で囲む。ただし、各項目の内容に「カンマ」、「ダブルコーテーション」、「スペース(16進コード…0x20)」および漢字(2バイトコード)を含まない場合は、データの両側の「ダブルコーテ

ーション」を省略することができる。

- ・英数属性の項目の内容に「ダブルコーテーション」を含む場合は、2つの「ダブルコーテーション」を連続して設定する。(1文字の「ダブルコーテーション」として扱われる。)
- ・数字属性の項目の内容がゼロの場合は、「ゼロ(16進コード…0x30)」を設定する。
- ・各レコードには「改行コード」および漢字(2バイトコード)を除き、16進コード…0x00～0x1Fの文字を使用しない。
- ・項目の入力を省略する場合は、データを省略して「カンマ」を連続させる。
- ・全ての桁に意味のある項目の場合は、内容に含まれるスペース、ゼロ等を省略しない。

## ② 固定長形式ファイル

- ・各レコードは固定長レコードとし、ファイル中最大のレコードフォーマットの長さに合わせてレコードの終わりにスペースを設定する。
- ・各項目間には区切り等をつけず、「バイト数」で示された固定長毎に項目値を設定する。
- ・漢字属性の項目には漢字シフトコードを付加しない。
- ・項目の入力を省略する場合は、英数属性の項目はスペース、数字属性の項目はゼロ、漢字属性の項目は漢字スペースをそれぞれ項目の長さに応じて設定する。

## 3. 2. 2 磁気媒体作成上の留意事項

### (1) 全般

- ・磁気媒体上のファイル名については、審査支払等システムではチェックの対象外。ただし、原則として同一月の交換情報としては同一ファイル名は使用せず、送付元で識別できる名称とする。
- ・保険者と事業者、異なる保険者及び異なる事業所からの情報を1枚(1巻)の媒体に混在させてはならない。

(例) 保険者が居宅サービス事業所として請求明細等を提出する場合も別媒体にして提出する。

- ・事業所が他の事業所の媒体作成(送信)を代行して行う場合は、事業所毎に媒体を作成する。
- ・同一保険者または同一事業所から異なる様式の情報を同時期に提出する場合は、1枚(1巻)の磁気媒体に混在させることも可能とする。

### (2) MT

- ・媒体の送付時は、送付票と併せて媒体内に格納されているファイルの一覧を添付する。
- ・オープンリールMT(JIS X6104、JIS X6105)は日本工業規格で幅 12.7mm、9トラック仕様の標準テープを使用する。
- ・JIS X0601 は日本工業規格で一般的に用いられている構成。
- ・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。
- ・EXCELファイル形式のデータ交換には使用できない。

### (3) MO及びフロッピーディスク

- ・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。

### 3. 2. 3 伝送使用上の留意事項

#### (1) エラー時の対応

- ・伝送したファイルの読み込みエラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送信を行う。

#### (2) セキュリティ

- ・国保連合会と接続した機器及びLAN環境を同時に他のネットワークに接続しない。(ネットワーク同士の相互乗り入れを前提としたLAN間接続は行わない。)
- ・国保連合会との接続は、登録した電話番号から行き、各々のサービス事業所等に交付された事業所IDとパスワードによる認証を使用する。
- ・事業所IDは、請求及び受領に関する事業所届出時に請求方法が伝送の場合、国保連合会より払い出される。
- ・パスワードは、事業所IDの払い出し時に国保連合会側で設定されるが、最初の接続時にサービス事業所側の責任で任意な値に変更するものとする。パスワードの定期的変更はサービス事業所の責務とする。
- ・パスワードを忘失した場合は、迅速に国保連合会に届け出、再発行等の処置を受ける。

### 3. 3 表記法

#### 3. 3. 1 インタフェース一覧の表記について

##### (1) インタフェース一覧の内容

交換情報の一覧を表す。

##### ① 項番

- ・業務毎の「項目説明」における各交換情報への対応を表す。

##### ② 識別

- ・交換情報識別番号を表す。

##### ③ 情報名

- ・交換情報の情報名を表す。

##### ④ 内容

- ・交換情報の内容を表す。

##### ⑤ ルート

- ・交換情報の送付元および送付先を表す。

##### ⑥ 周期

- ・情報交換の周期(月次、日次等の区別)または送付時期を表す。

##### ⑦ 媒体

- ・交換情報の送付媒体を表す。

##### ⑧ 出力形式

- ・国保連合会が送付する交換情報の出力形式を表す。

CSV : 伝送または磁気媒体にCSV形式(MTの場合は固定長形式)で出力可能な場合は“○”で表す。

EXCEL : 伝送または磁気媒体にEXCELファイル(Excel97)形式で出力可能な場合は“○”で表す。

帳票形式 : 帳票(紙媒体)として出力可能な場合は“○”で表し、出力される用紙の種別(汎用紙/専用紙)とサイズ等を付記する。

### 3. 3. 2 項目説明の表記について

#### (1) 項目説明の内容

交換情報のデータレコードに「データ」として設定する項目の内容を表す。

##### ① 項番

・項目の連番。

CSV形式で交換情報を作成する場合は、この単位でデータの区切り(カンマ)を設定することを表す。

##### ② 項目名

・項目名を表す。

##### ③ 属性

・特に記載が無い限り、以下の形式でデータを設定することを表す。

英数 : 半角の英字、数字、カナ文字1文字をそれぞれ1バイトで表す。半角の英小文字は使用できない。

固定長形式で設定する場合は、左詰で残りはスペースで埋める。

数字 : 0, 1, 2, ..., 9の数字1桁をそれぞれ1バイトで表す。

固定長形式で設定する場合は、右詰で左側はゼロで埋める。

漢字 : 漢字1文字をそれぞれ2バイトで表す。

固定長形式で設定する場合は、漢字シフトコードを付加しない左詰とし、残りは漢字スペースで埋める。

・「英数」項目には漢字(2バイトコード)を混在させない。

・「漢字」項目には半角の英字、数字、カナ文字(1バイトコード)を混在させない。

##### ④ バイト数

・設定するデータの長さをバイト数で表す。

・CSV形式の場合は項目の最大長、固定長形式の場合は項目長(固定長)を表す。

##### ⑤ 内容

・設定する項目の内容を表す。

##### ⑥ 必須入力

・入力が必要な項目を“○”で表す。

・特定の条件により入力が必要な場合は、条件のマトリックスまたは注記として表末に記述する。

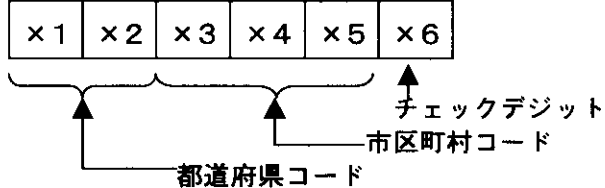
##### ⑦ 備考

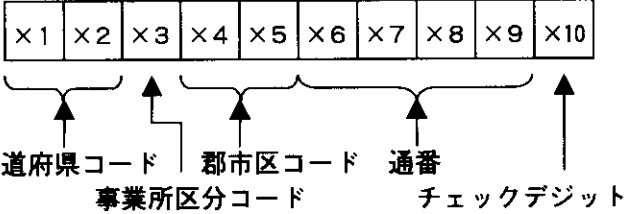
・設定するデータの形式、コード一覧の参照先等の特記事項を表す。

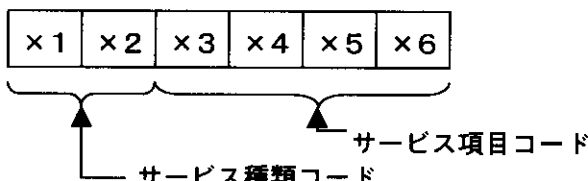




### 3. 4 コード一覧

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報を識別するための番号	
2	異動区分コード	数字	1	1:新規 2:変更 3:終了	
3	異動事由	受給者異動事由	数字	2	01:受給資格取得 02:受給資格喪失 03:広域連合における受給者の市町村間異動（政令市における受給者の区間異動） 99:その他異動
		事業所異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
		保険者異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
		広域連合異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
		市町村固有情報異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
		市町村特別給付異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）
4	訂正区分コード	数字	1	1:（未使用） 2:修正 3:削除	
5	媒体区分コード	数字	1	1:伝送 2:MO 3:MT 4:FD (5:紙)	
6	保険者番号 ※	数字	6	介護保険の保険者番号 	
7	証記載保険者番号 ※	数字	6	被保険者証記載の保険者番号 広域連合（政令市）の場合は市区町村コード（行政区番号）	
8	市区町村コード	数字	3	自治省にて定めるコード（広域連合を除く）	
9	年号コード	数字	1	1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成	
10	保険者区分コード	数字	1	1:単独保険者 2:政令市 3:広域連合の保険者	
11	被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号 被保険者証記載の被保険者番号が10桁に満たない場合は右詰とし、左側を0で埋める	
12	性別コード	数字	1	1:男 2:女	
13	みなし要介護区分コード	数字	1	1:通常の認定 2:みなし認定 3:やむを得ない事由	
14	要介護状態区分コード	数字	2	01:非該当 11:要支援 21:要介護1 22:要介護2 23:要介護3 24:要介護4 25:要介護5	
15	居宅サービス計画作成区分コード	数字	1	居宅介護支援事業所作成又は自己作成の区分 1:指定居宅介護支援事業所作成 2:基準該当居宅介護支援事業所作成 3:自己作成	
16	減免申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み	
17	申請種別コード	数字	1	1:新規申請 2:更新申請 3:変更申請 4:職権	
18	変更申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み	
19	標準負担区分コード	数字	1	1:標準負担 2:特定標準負担	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
20	利用者負担区分コード	数字	1	1:利用者負担 2:旧措置利用者負担
21	世帯所得区分コード	数字	1	世帯の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税世帯非課税者等 3:生活保護
22	所得区分コード	数字	1	個人の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税非課税者等 3:生活保護
23	高齢福祉年金受給の有無	数字	1	1:受給無し 2:受給有り
24	事業所番号 ※	数字	10	介護居宅介護支援事業所、指定サービス事業所、基準該当サービス事業所の事業所番号  
25	受領委任の有無	数字	1	1: 受領委任契約無し 2: 受領委任契約有り
26	指定／基準該当等事業所区分コード	数字	1	1:指定事業所 2:基準該当事業所 3:相当サービス事業所 4:その他
27	法人種別コード	数字	2	01:社会福祉法人 02:医療法人 03:社団法人 04:財団法人 05:株式会社 06:有限会社 99:その他法人
28	経営主体コード	数字	2	01:国立病院 11:国立療養所 02:官公立病院 03:その他の公的病院 04:国立大学病院 05:公立大学病院 06:私立大学病院 07:医療法人病院 08:社会福祉病院 09:その他の法人病院 10:個人病院 12:官公立診療所 13:その他の公的診療所 17:医療法人診療所 18:社会福祉法人診療所 19:その他の法人診療所 20:個人診療所
29	居宅サービス区分コード	数字	1	1:訪問通所 2:短期入所

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
30	サービス種類コード	数字	2	11:訪問介護 12:訪問入浴介護 13:訪問看護 14:訪問リハビリテーション 15:通所介護 16:通所リハビリテーション 17:福祉用具貸与 21:短期入所生活介護 22:短期入所療養介護 31:居宅療養管理指導 32:痴呆対応型共同生活介護 33:特定施設入所者生活介護 41:特定福祉用具購入 42:住宅改修 43:居宅介護支援 51:介護福祉施設サービス 52:介護保健施設サービス 53:介護療養施設サービス 81～:その他(市町村特別給付等)
31	サービスコード	数字	6	 <p>*サービス項目コードはサービスの内容・行為を表す(検討中)</p>
32	福祉用具貸与種目コード	数字	2	01:車いす 02:車いす付属品 03:特殊寝台 04:特殊寝台付属品 05:じょく瘡予防用具 06:体位変換器 07:手すり 08:スロープ 09:歩行器 10:歩行補助つえ 11:痴呆性老人徘徊感知機器 12:移動用リフト
33	地域区分コード	数字	1	(給付単価の地域差を求める為のコード)
34	公費負担者番号 ※	数字	8	
35	公費受給者番号	数字	7	
36	老人保健市町村番号	数字	8	
37	老人保健受給者番号	数字	7	
38	金融機関コード	数字	4	全銀協が定めたコード体系
39	金融機関支店コード	数字	3	全銀協が定めたコード体系
40	口座種目	数字	1	全銀協が定めたコード体系
41	口座番号	数字	7	全銀協が定めたコード体系

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
42	福祉用具購入費の種目	数字	2	01:腰掛便座 02:特殊尿器 03:入浴補助用具 04:簡易浴槽 05:移動用リフトのつり具の部分	
43	施設等の区分コード	数字	1	サービス種類	内容
				訪問看護	1:訪問看護ステーション 2:病院または診療所
				通所介護	1:単独型 2:併設型 3:痴呆専用単独型 4:痴呆専用併設型
				通所 リハビリテーション	1:通常規模の医療機関 2:小規模診療所 3:介護老人保健施設
				短期入所 生活介護	1:併設型・空床型 2:単独設置型
				短期入所 療養介護	1:老人保健施設 2:病院療養型 3:診療所療養型 4:痴呆疾患型 5:基準適合診療所 6:介護力強化型
				介護福祉施設	1:介護福祉施設 2:小規模介護福祉施設
				介護療養施設	1:療養型 2:診療所型 3:痴呆疾患型 4:介護力強化型
44	人員配置区分コード	数字	1	サービス種類 および 施設等の区分	内容
				短期入所生活介護	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型
				短期入所療養介護	
				老人保健施設	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型
				病院療養型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型 4:Ⅳ型
				診療所療養型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型
				痴呆疾患型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型 4:Ⅳ型
				介護力強化型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型 4:Ⅳ型
介護福祉施設	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型				
介護保健施設	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型				
介護療養施設					
療養型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型 4:Ⅳ型				
診療所型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型				
痴呆疾患型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型 4:Ⅳ型				
介護力強化型	1:Ⅰ型 2:Ⅱ型 3:Ⅲ型 4:Ⅳ型				
45	特別地域加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
46	機能訓練体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
47	食事提供体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
48	特別入浴介助の有無	数字	1	1:無し 2:有り	

項番	コード名称	属性	桁数	内容	
49	リハビリテーション体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
50	基準省令付則	数字	1	サービス種類 および 施設等の区分	内容
				短期入所療養介護 病院療養型	1:第10条 2:第8,9,11条 3:第7条
				介護療養施設 療養型 診療所型	1:第10条 2:第8,9,11条 3:第7条 1:第13,14条 2:第12条
51	医師の配置における経過措置適用の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
52	勤務条件基準	数字	1	1:加算型① 2:加算型② 3:加算型③ 4:加算型④ 5:減算型 ただし、短期入所療養介護 診療所療養型および介護療養施設 診療所療養型の場合は未定	
53	平成10年省令	数字	1	短期入所療養介護 診療所療養型の場合 1:第2,3条 2:第6条	
54	常勤医師配置	数字	1	1:無し 2:有り	
55	精神科医療用指導	数字	1	1:無し 2:有り	
56	夜勤勤務条件	数字	1	1:該当 2:非該当	
57	痴呆専門棟の有無	数字	1	短期入所療養介護（老人保健施設）介護保健施設の場合 1:無し 2:有り	
58	審査方法区分コード	数字	1	1:償還払の審査を行わない 2:償還払の審査を行う	
59	生活保護法による指定事業所の有無	数字	1	1:指定無し 2:指定有り	
60	保険・公費等区分コード	数字	1	1:保険請求分 2:保険優先公費分 3:公費単独分	
61	請求情報区分コード	数字	2	保険・公費等区分コード	内容
				保険請求分	01:通常の利用者負担 02:減免対象 03:給付率引き下げ分 99:合計
				保険優先公費分または公費単独分	99以外:法別コード 99:合計

※インタフェース上は、保険者番号、公費負担者番号及び事業所番号を同一の項目に設定する場合があるため、これらの項目の桁数を変更されている交換情報がある。

### 3. 5 留意事項

#### 3. 5. 1 項目設定共通事項

##### (1) 「年月日」欄

- ・年月日を西暦年4桁、月2桁、日2桁の半角数字で表す。
- ・月、日が1桁の場合は、それぞれ直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 1日 の場合は、“20000401”を設定する。

##### (2) 「年月」欄

- ・年月を西暦年4桁、月2桁の半角数字で表す。
- ・月が1桁の場合は、直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 の場合は、“200004”を設定する。

##### (3) 「点数単価」欄

- ・点数の単価を整数部2桁、小数部2桁の半角数字で表す。

(例)

5. 6円 の場合は、“0560”を設定する。

このページは空白です